

2026 年 10 月 6 日

各位

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社
(東証プライム 167A)
リョーサン菱洋株式会社

**リョーサン菱洋、トヨタの AI バスケットボールロボット
「CUE7」へ NVIDIA のエッジ AI コンピューティング製品を提供
～トヨタ独自のロボット認識・制御技術を支える高性能な演算基盤として採用～**

エレクトロニクス商社のリョーサン菱洋株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員：稲葉 和彦、以下「リョーサン菱洋」）は、トヨタ自動車株式会社 未来創生センター（以下「トヨタ自動車 未来創生センター」）が独自に研究を進める AI バスケットボールロボット「CUE7」に、NVIDIA® Jetson AGX Orin™シリーズをはじめとしたエッジ AI コンピューティングモジュール（以下、「本製品群」）を提供しました。

■ 採用に至った背景

トヨタ自動車 未来創生センターは、AI バスケットボールロボット「CUE7」の研究において、周囲の環境や不規則に動くボールに応じて自律的に判断・制御し、ドリブルをするロボティクス技術を研究していました。そこで、独自の認識・制御技術をロボット上で高速に実行するための演算基盤として本製品群に着目し、「CUE7」への組み込みを検討しました。その結果、小型・軽量性と、ボールや周辺環境のリアルタイム認識を高精度に実行できる点が評価され、採用に至りました。



写真提供：トヨタ自動車 未来創生センター

■ 本製品群について

このたび「CUE7」に採用された製品は以下のとおりです。

- ・ NVIDIA Jetson™ AGX Orin Industrial モジュール
- ・ Connect Tech 社製 AGX202、及び JCB002

■ 今後の展望

リョーサン菱洋はこれまで、NVIDIA のオープンモデルやソフトウェアに対応した NVIDIA Jetson に

おける国内トップクラスの取り扱い実績を通じて、エッジ AI の技術的知見を培ってまいりました。また、製造業をはじめとした多様な業界・業種の企業が抱えるお困りごとに対し、解決に最適な製品を提案し実装まで支援してきた実績がございます。これらを活かし、フィジカル AI の導入を支援するとともに、ロボティクスの社会実装と産業の発展に貢献してまいります。

■ リョーサン菱洋について

リョーサン菱洋は、半導体、AI、IT、産業 DX などの領域で、単なる製品の販売にとどまらず、お客様の事業成長のための支援を提供するエレクトロニクス商社です。2026 年 4 月 1 日に、リョーサンと菱洋エレクトロの統合により、両社の強みを結集し、新たなスタートを切りました。

『お客様のニーズにお応えし 社会に必要とされる企業になる』をビジョンに掲げ、目の前のお客様はもちろん、その先にいるエンドユーザー様までを「お客様」と捉えています。リョーサン菱洋は、お客様の課題解決を通じて、IT 産業のさらなる発展に寄与し、社会への貢献を目指します。

社 名：リョーサン菱洋株式会社
代 表：代表取締役社長執行役員 稲葉 和彦
事 業 内 容：半導体や電子部品の販売および製造
IT 機器や付随するシステムの販売、製造および構築
設 立 日：1953 年 11 月
資 本 金：17,690 百万円
U R L：▶[リョーサン菱洋オフィシャルサイト](#)



本件に関するお問い合わせ

リョーサン菱洋ホールディングス株式会社 企画本部 広報部
TEL：03-3546-6331 Mail：pr@rers-grp.com